







年間授業計画

茨窪高等学校 令和4～8年度入学生用

教科

国語

科目

教養国語

教科: 国語 科目: 教養国語 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 4 学年 1 組～ 8 組

教科担当者: ( 1・2・3・4・5・6組: 齋藤 ) ( 7・8組: 横溝 )

使用教科書: ( 国語表現 大修館 )

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手である自覚を持つ。

科目 教養国語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。また、自分の思いや考えを多様に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにして	「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。	正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話	書	読						
1 言葉と出会う① 【知識及び技能】 基本的な表記の決まりや正しい言葉の使い方を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の根拠に注目し、論理的な読み方を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう姿勢を身につけさせる。 定期考査	・表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・漢字や慣用表現を正しく使う。 ・実用国語セミナーの活用 ・一人1台端末の活用 等	○	○		【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。 ・自分の思いや考えを多様に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10	
	1 言葉と出会う② 【知識及び技能】 基本的な表記の決まりや正しい言葉の使い方を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の根拠に注目し、論理的な読み方を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう姿勢を身につけさせる。 定期考査	・係り受けについて理解する。 ・文末表現について理解する。 ・実用国語セミナーの活用 ・一人1台端末の活用 等				【知識・技能】 ・書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・練習問題を解くことをおとし、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	2 伝える、伝え合う 【知識及び技能】 最近のニュースや自分の身のまわりで起きたできごとなどを伝える原稿を書く。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の根拠に注目し、論理的な読み方を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう姿勢を身につけさせる。 定期考査	・5W1Hを明確にし、事実と意見を区別して文章を書く。 ・実用国語セミナーの活用 ・一人1台端末の活用 等	○	○		【知識・技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせを工夫して、伝えたいことを明確にする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近なテーマを見つけ、ニュース記事を書く活動に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
2 小論文・レポート入門① 【知識及び技能】 小論文とは何かを理解し、その基本的な書き方を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の根拠に注目し、論理的な読み方を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう姿勢を身につけさせる。 定期考査	・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。 ・実用国語セミナーの活用 ・一人1台端末の活用 等	○	○		【知識・技能】 ・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理的な展開を考案するなど、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	9	
	3 小論文・レポート入門② 【知識及び技能】 小論文とは何かを理解し、その基本的な書き方を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の根拠に注目し、論理的な読み方を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう姿勢を身につけさせる。 定期考査	・意見を筋道を立てて書く。 ・実用国語セミナーの活用 ・一人1台端末の活用 等	○	○		【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	4 自己PRと面接② 【知識及び技能】 自分の魅力や特長をわかりやすく印象的に伝える練習をする。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の根拠に注目し、論理的な読み方を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう姿勢を身につけさせる。 定期考査	・自分の特長を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。 ・実用国語セミナーの活用 ・一人1台端末の活用 等	○	○		【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
3 メディアを駆使する 【知識及び技能】 通信文の内容や形式は、相手によって様々であるため、その書き方を使い分けを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の根拠に注目し、論理的な読み方を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう姿勢を身につけさせる。 定期考査	・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。 ・実用国語セミナーの活用 ・一人1台端末の活用 等	○	○		【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色、通信文ごとの形式の違いについて理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手紙に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現のしかたを工夫している。 ・「書くこと」において、紹介、連絡、依頼などの実務的な手紙や電子メールを書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・さまざまな通信文の使い分けや、手紙の書き方に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	9	
	定期考査					○	○	○	1	
									合計	78

